

下関市立大学広報



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2016年7月1日 第79号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

創立 60 周年記念事業

創立60周年記念式典

学部長 中嶋 健

1956年に下関商業短期大学として創立し、2016年(平成28年)で下関市立大学は60周年を迎えました。創立60周年記念事業として式典、祝賀会、記念誌、研究事業に取り組んでまいりました。

記念式典及び祝賀会を6月4日(土)に開催しました。式典は、本学A講義棟101教室で執り行われました。来賓者からの温かい祝辞をいただき、また、同窓会からは創立60周年記念品として国旗、大学旗と長流旗を、本学卒業第1期生から記念樹として「桜の木」が贈られました。坂本紘二元学長の基調講演、本学の同窓生で映画監督の小林克人さんの特別講演に続き、講演者の2人に吉津前学長を交えたパネルディスカッションがあり、学長としての思いと映画監督としての思いの強さが垣間見えたと思います。式典参加者には、記念誌が配られました。

式典終了後は場所をシーモールパレスに移して祝賀会が開かれました。公立大学法人化10年ということで、当時の市長であった江島参議院議員も参加しておられました。全国からの参加者に恵まれ盛会のまま終了となりました。残るは研究事業となりますが、60周年にふさわしい研究事業の成果などを一冊の本にして出版予定となっています。こちらは乞うご期待です。

新学長挨拶

新しい時代への挑戦

学長 川波 洋一

2016年4月に下関市立大学の第13代学長に就任し、新たな気持ちでスタートを切ることとなりました。

下関市立大学は、1956年に下関商業短期大学として設立され、1962年には4年制大学へ移行いたしました。爾来こんにちまで、本学は、学部・大学院を含めて19,000人余の卒業生を世に送り出してきました。本学が創設された1956年は、まさに神武景気の最中であり、その後日本経済は、なべ底不況を経て、岩戸景気、オリンピック景気、いざなぎ景気と高度経済成長の路線をまっしぐらに進んでまいりました。本学は、高度経済成長とともに発展し、そのための人材を数多く輩出し、日本の経済社会の発展に貢献してきたこととなります。

その後、日本経済が、安定成長への移行、バブルの形成と崩壊、長期不況へとダイナミックに転換するなか、18歳人口のさらなる減少や急速なグローバル化の進展、財政状況の悪化など、大学を取り巻く環境も大きく変わりました。大学の教育研究をめぐる環境は厳しさを増しつつありますが、多様な研究とそれにもとづく教育を通じて有為の人材を世に送り出し、地域社会と国際社会の発展に寄与するという下関市立大学の使命は変わらないと思います。

このような思いを新たに、下関市立大学の発展のために力を尽くしてまいりたいと存じますので、皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



パネルディスカッションの様子



下関市立大学 News & Topics

平成28年度 第55回入学式

桜が満開を迎えた晴天の良き日の4月5日(火)に、本学体育館にて入学式が執り行われました。今年度は、学部学生として経済学科253名、国際商学科234名、公共マネジメント学科72名で合計579名(うち留学生8名)、編入学生15名、大学院生5名で総数593名の新入学生を迎えました。式は、放送部の徳永さん(国際商学科2年)と宇田さん(公共マネジメント学科2年)の司会によって進められ、川波洋一新学長は、答えのない問題の解決法を求め、考える力を養い、一人の大人として自己責任を持った大学生となるよう、新入生に向けて告辞を述べられました。

そして、荻野喜弘理事長、中尾友昭市長代理の本間俊男副市長、関谷博下関市議会議長、栗原紹子後援会長の祝辞のあと、「新入生代表誓いの言葉」が公共マネジメント学科の有村遥香さんと大学院代表の王海跳さんから宣誓されました。500名を超える保護者の方々、市役所等からの来賓者も参列され、慶びと新入生たちの希望と期待にあふれる入学式でした。



体育会の活動について

第41代体育会会長 経済学科4年 坂手 達弥
(鳥取県立倉吉東高等学校出身)

体育会は主に、全体育会系団体の活動環境をより良くするために活動しています。また、学生の代表機関として学内全体の環境改善にも取り組んでいます。具体的には、部室の提供や部費の分配時期などです。学生に意見を聞き、自分たちで改善したり、大学へ伝えて改善を求めたりしています。まず、部室に関しては現在、体育会と文化会で話し合い理想的な部室の配置などを考えています。次に、部費の分配ですが、体育会、文化会、学友会が今まで以上に連携し早期分配のため取り組んでいます。体育会に所属していない学生も、運動やスポーツに関して何か改善してほしい問題があれば、体育会に相談していただいて構いません。問題解決のため、積極的に取り組みます。以上のように、私たち体育会の柱となる活動目的は、より良い大学にすることです。良い大学と言っても人それぞれ価値観が違います。そのため、体育会の意見だけを押し通さず、多くの学生の意見を聞いて提案、実現していきたいと考えています。



文化会の活動について

第32代文化会会長 公共マネジメント学科3年 福田 大介
(岡山県立総社高等学校出身)

今年度は、今まで以上に体育会、学友会と協力し、学生生活がより充実したものになるよう努めます。サークル活動の活性化のためには、新入生の入部が必須です。しかしながら、いつどこで活動しているかといった情報が全新生に行き渡っていません。そこで新しい試みとして、文化会室の場所を活かして各サークルの活動情報を誰でも気軽に閲覧できるように掲示しようと考えています。他にも、各サークルの部室の確保やより迅速な情報の伝達・共有、部費の早期分配を今年度の目標として活動していこうと考えています。文化会室は月水金の昼休みに開いています。大学への意見等も受け付けています。大学の環境向上に向けて活動していますので、気軽に文化会室に来てください。



大学祭で熱唱する文化会所属のアカペラサークルの皆さん

大学祭実行委員会の活動について

第55代大学祭実行委員会委員長 経済学科3年 篠原 大空
(栃木県立宇都宮北高等学校出身)

大学祭実行委員会は、本学大学祭である「馬関祭」の企画・運営を行っています。企画局・渉外局・公演局・総務局という4つの局から構成されており、それぞれがよりよい大学祭となることを目指して活動しています。また、馬関祭は地域の皆様のご協力なしには成り立ちません。その感謝の気持ちも込めて、市内各所でのボランティア活動にも積極的に参加しています。加えて、入学式でのふく鍋作りをはじめとした様々な行事の企画・運営も行っています。

本年度の「馬関祭」は、10月8日(土)～10月10日(月・祝)に開催する予定となっています。「55!ChanGe!」というテーマのもと、大学祭実行委員会の一年の集大成である馬関祭を通して、学内だけでなく学外にも元気を与えるような活動を行いたいと考えています。主なイベントとしてコンサート企画や野外ステージ企画、講義棟内展示企画、花火打ち上げを企画していますので、たくさんの方にお越しいただけたらと考えています。



新任挨拶

世界と地域の経済・金融を学ぶ

教授 森 祐司
(金融論、金融システム論)



本年4月に着任いたしました森祐司と申します。授業では主に金融論・金融システム論や演習を担当いたします。

私が担当する分野は、金融やファイナンスなどビジネスに関する領域です。これらの領域では勿論ですが、「グローバル化」という言葉は陳腐化するほどまで世間に流布してきました。その中で分かってきたことは、ヒト・モノ・カネ・情報の動きが確かにグローバルに拡大し、その流れをつかむことが求められる一方、地元や身近な地域という足場にきちんと立脚して自らの「個」を確立することの重要性が認識されてきたことでしょう。世界のことを知り、また同時に下関や関門地域についての理解を深め、そして自らの郷土についても見つめなおすこと。この下関市立大学で学ぶことの意義はそんなところにもあるのではないのでしょうか。

私自身、勤務先や居住する地域をいくつか変わってきました。しかし、そのような目線で、世界や地域の経済・金融の動きを学生と一緒に考えていきたいと思えます。

いろいろな意味で新参者です

教授 岡本 次郎
(国際政治経済学、開発途上国論)



はじめまして。4月に着任しました岡本次郎です。専門は国際政治経済学で、アジア太平洋／東アジア諸国の経済発展とそれに伴う国際制度の構築・変容に興味を持っています。各国はなぜ特定の国際協力枠組みを選好するのか(政策過程論)、国際制度に関する主要国の戦略的意図およびそこから生じる国際制度間の競合・協力関係(国際関係論)なども研究射程の一部です。本学では国際政治経済学、開発途上国論、東アジア経済論などを担当しています。

これまでの人生の5分の4は関東地方で、残りの5分の1は海外で過ごしてきました。ご縁があって下関市という日本と東アジアの結節点に位置する本学に奉職することになり、日本と東アジアを結ぶ新たな知見が得られるのではないかと期待しています。フルタイムの大学教授となるのも初めてですが、多くの学生との出会いや協働への期待に胸を膨らませているところです。

高校・大学時代はラグビーに明け暮れていました。ラグビー(に限らずチームスポーツ全般)をプレーするのに不可欠な価値観(自律性、創造性、協調性、責任感など)も学生にじわじわと伝えていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

「法的なものの考え方」の習得の一助に

講師 山本 真敬
(憲法、行政法)



4月に着任いたしました山本真敬と申します。専門は、憲法学・行政法学ですが、特に、「立法裁量とその統制手法」について研究しております。憲法上の権利を制約・実現する際に、憲法が、立法者(国会)に対して一定の余地を与えている場合があります(これを立法裁量と呼びます)。そして、司法審査権を持つ裁判所は、個人などから訴えが起こされた場合、こ

の立法裁量の枠を超える違憲な内容を立法者が法律において定めていないか否かを審査することになります。その際、裁判所は、その法律が立法裁量の枠内にあるか否かを、いったいどのような仕方と判断すべきなのでしょう。わたしは、このようなことを研究しております。

法律は、生活の中で縁遠いようで実は身近な存在です。本学には法学の授業も多く設置されておりますが、わたしの授業でも、「法的なものの考え方」(リーガル・マインドと言ったりもします)の一端でもお伝えできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

魅力あふれる中国語の世界へ

特任教員 程 長泉
(日本文学翻訳 中国語教育)



はじめまして、この度、下関市立大学の特任教員として、姉妹校の青島大学外国語学院から参りました程長泉と申します。これから1年間、1年生と2年生の中国語の授業を担当することになっていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

青島大学外国語学院日本語学部では、学部生3年生の精読(intensivereading)を担当すると同時に、院生の翻訳や同時通訳などの講義も受け持っています。大学で教える傍ら、出版社の依頼を受けて、日本の文学作品を中国語に直す翻訳の仕事を手掛けています。渡辺淳一や横山秀夫、藤沢周平の作品の翻訳を数多く出版しています。教えること、日本の文学作品を中国人に紹介することに生きることの喜びや生き甲斐を感じています。仕事の関係で、日本語と中国語に深い理解を得ていると思います。

日本語は奥が深く、非常に美しい言葉だと思いますが、中国語もまた世界で一番美しい言葉の一つだといわれています。長年積んできたキャリアを活かし、教え方に工夫を凝らし、どうやって私の熱意に応えてもらえるような授業ができるか、interactive teaching, interactive learningを心掛け、なるべく早く学生の皆様に中国語の神髄を心得てもらえるように、様々なアプローチを試みたいと考えています。

好きこそもの上手なれ、皆さんにぜひ中国語を好きになって欲しいと思います。私も頑張って皆様に魅力あふれる中国語の世界へご案内したいと意気込んでいます。

中日経済の未来像を探るため、研究へ

客員研究員 李 燕
(経済学 国際経済学)



はじめまして。本年4月より客員研究員として着任致しました李燕と申します。中国の青島大学から参りました。専門は経済学で、青島大学で、主に国際経済学、世界経済論の授業を担当しております。

これまで、戦後日本経済、中日貿易、地域経済、とりわけ災害後の経済復興について、研究してきました。中国と日本は一衣帯水の隣国です。両国とも世界の経済大国で、また経済の相互依存度がとても高いので、戦後日本経済発展の経験を学んで、経済発展途上国の中国に建言して、役に立つことができたいと思います。

客員研究員としての研究期間が半年で、短いですが、この貴重な研究時間を有効に利用して、下関市立大学の先生方に色々教えていただきまして、研究成果を上げたいと思います。また、青島と下関という姉妹都市の一員として、両市の友好関係を永遠に保っていくように尽力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

下関市立大学 News & Topics

第51回卒業式

3月25日(金)、本学の体育館において、第51回卒業式が行われました。学生歌「青潮ゆたかに」を斉唱した後、経済学科194名、国際商学科195名、公共マネジメント学科49名、大学院生4名の計442名に学位記が授与されました。

吉津学長は、「チャレンジ精神を失わず、人間関係を円満にする人々への愛と心の美しさ、そしてくじけない心の強さを持って、未来に踏み出してください。必ずや途は開けます。」と卒業生に激励されました。理事長、下関市長等来賓祝辞に引き続き、各種表彰が行われました。

今回は、優秀な論文を執筆した学生への優秀赤馬賞、優秀な成績を取めた個人・団体に贈られる後援会表彰に加え、同窓会表彰も行われました。その後、卒業生総代として、経済学科の藤本美帆さんが、大学生活での経験を織り交ぜ、社会人としての将来への決意と謝辞を述べました。

式の終了後は、卒業生と教員が集い、市内のホテルでにぎやかな祝賀会が開催されました。



海岸清掃ボランティアを行いました

5月15日(日)、長門市油谷大浦海岸において、ボランティアによる海岸清掃活動が行われ、本学の学生と教職員の合計15名が参加しました。致景の広がる大浦海岸では、国内外から大量に漂着するごみが問題となっています。漂着ごみの量と大小の石が散乱する足場の悪さのため、地元の方による清掃活動には限界があります。今回の清掃活動には約850人が参加し、バケツリレー方式でごみを運ぶことにより、約4トンのごみを回収することができました。

今回の海岸清掃ボランティア活動には、県内12大学が加盟する山口県エコキャンパス取組促進協議会として協力し、県内各地の大学から計約170名が参加しました。協議会が行ったアンケートでは、国外からのごみが思いの外多く漂着していることや、海岸清掃実施に伴う達成感や満足感、地元の方々や他大学の学生との交流についての感想が記入されており、参加した学生にとっても充実した時間が過ごせたようです。



自著を語る

連載企画

教授 米田 昇平

昨年12月に、ムロン『商業についての政治的試論』(京都大学学術出版会)を、今年1月に『経済学の起源 フランス—欲望の経済思想』(京都大学学術出版会)を出版しました。ムロンの著書(1734年)の翻訳の方は、アイルランドのピンドンという人が英訳版(1738年)につけた詳細な注解をあわせて紹介したいと思って、アイルランド史の専門家(法政大学の後藤浩子さん)との共同作業でできあがったものです。あまり知られていませんが、啓蒙の経済学を代表する重要な文献です。『経済学の起源』は、前著(『欲求と秩序—18世紀フランス経済学の展開』昭和堂、2005年)の続編です。狙いは、フランス経済学の源流を明らかにし、フランス起源の経済学の生成と展開を導いた思想的コンテクストを浮き彫りにすることで、スミス中心史観を相対化し、知られざる経済学の起源を明らかにすることにあります。「経済の原理」を根底から支えているのは「欲望の原理」であるという一面、さらには、近代社会の「欲求の社会」としての一面に光を当てることができたのではないかと考えています。



自著を語る

連載企画

『中山茂著作集』(全15巻)

教授 川野 祐二

世の中には「スゴイ人」がいるものです。恒星のような強烈な輝きを放って、一時代を築く人です。私にもどうしても気になる人物がいます。そこで彼の著作を体系的にまとめて出版することになりました。

中山茂は、科学史家トーマス・クーンが提唱したパラダイムの紹介者として知られています。中山の関心は科学史にとどまらず、大学史、社会史、文明史に及び、その膨大な著作と学問領域をまたぐスケールの大きい研究は、知の巨人と呼ぶのにふさわしいものです。しかし私は、彼が権威や権力に媚びない、根っからの自由主義者であったことにこそ着目したいのです。学問に不可欠な「自由の空気」を身にまとい、長く学界をリードしてきたこと、これが中山のレガシー(遺産)だと思うからです。

著作集の編者はその遺産を受け継ぐ人たちはです。吉田忠、成定薫、吉岡斉(編集代表)、塚原修一、そして私。出版を引き受けてくれたのは、編集工房球の針谷順子社長。全15巻構成で各巻末には編者の解説が付きまします。第3回配本『中山茂著作集第5巻 科学と社会の現代史』には、浅学ながら私が解説を記しました。全巻完結まであと12巻。偉人の思想をきっちり体系化したいと思っています。



下関市立大学 News & Topics

国内研修報告

教授 西田 雅弘



2015年10月から6ヶ月間、広島大学大学院文学研究科で研修する機会を与えていただきました。研修題目は「カント歴史哲学の知識社会学的研究」です。本学に着任して25年になります。この間『下関市立大学論集』を中心にカントに関する論文を書きためてきました。それらを1つにまとめるための見方や考え方を明確にすることが今回の研修の目的でした。

一般に哲学や倫理学の研究は、思索や文献だけが頼りで抽象的というイメージが強いかもしれません。しかし、知識社会学的な見方をすれば、歴史的社会的な要因を混入させないカント倫理学の純粋な理論的特質ですら、むしろそのような特質に関連する歴史的社会的な要因にともなって形成された、と見ることができます。カント思想の背後には18世紀プロイセンの「啓蒙の時代」があります。従来のカント研究において主流になり得なかったカント歴史哲学には、時代とのつながりを見出す手がかりが秘められています。今回の研修成果を踏まえ、着任以来の蓄積をまとめるために定年までの残された時間とエネルギーを傾注したいと思えます。

国内研修報告

准教授 田中 裕美子



2015年10月から2016年3月まで、同志社大学客員研究員として研修する機会に恵まれました。「日本における既婚女性のパートタイム雇用に関する研究」をテーマとし、主に高度成長期から2000年代を中心に取り組みました。研修期間中は、まず、労働省（現：厚生労働省）が発行する「婦人労働の実情」の1952年から2014年までのおよそ60年分を収集・整理し、読み解いていくという作業から始まりました。研究の目的は、女性が雇われて働くようになってきた過程において、「雇われて働く」ということがパートタイム雇用を中心として編成されてきたことを明らかにすることです。

歴史的な事実として知っていた事柄も、当時の資料を手にとって改めてみると、また新たな視点を得ることもできました。資料に没頭するあまり、いま自分は何年にいるのかが、一瞬ですが、わからなくなったこともありました。時代を振り返ることの重要さと、その時代におこった出来事を解釈することの難しさを実感した日々でした。この研究成果の一部はすでに公表しましたが、今後もさらに研究を進めながら、授業やゼミへ成果を還元していきたいと考えています。お世話になりました関係者の皆様に感謝いたします。

平成28年度関門地域
共同研究会 成果報告会の開催

5月16日(月)に、海峡メッセ下関の大会議室で、北九州市立大学地域戦略研究所と本学附属地域共創センターの共催による「関門地域共同研究会成果報告会」を開催しました。両市から約100名の参加者があり、学生も参加し、地域づくりに関する多様な視点を学ぶことができました。第1部では、2015年度に両大学の5組の教員らによって行

われた調査・研究に関するそれぞれの研究成果が報告されました。第2部では、「地方創生と関門観光インバウンドの可能性」と題したミニシンポジウムを開催し、下関市役所と北九州市役所の観光部門の課長などにも参加頂き、関門地域の観光振興政策について多様な組織を連携させながら海外からの観光客のニーズにより良く応答することなどについて活発な議論が行われました。



私のゼミ

連載企画

IT社会・企業における経営情報システムの研究

国際商学科3年 山内 貴裕
(沖縄県立向陽高等学校出身)

松本(義)ゼミでは「経営情報」という分野の中からゼミ生がキーワードを挙げ、その中からいくつかテーマをピックアップし、その内容についてグループに分かれて発表します。



例えば、私のグループはビッグデータについての発表を行いました。最近よく耳にするこの言葉ですが、特徴としては、多量性、多様性、そしてリアルタイム性などが挙げられます。以前はビジネスに利用するデータといえば売上高といった過去の数字などが主でした。しかし、スマートフォンが普及し、膨大なデータを収集できるようになったこと、またデータを解析する技術が発達したこと等の理由により、ツイッターのつぶやきや画像、動画などのデータもビジネスに利用する動きが進んでいます。問題点としては、ビッグデータの分析や統計学に関する専門的な知識を持つデータサイエンティストの絶対数が不足していることです。また、利用者の各種履歴を収集・集積するため、利用者の詳細な行動がわかり、プライバシーの侵害の恐れもあることです。

経営情報という分野の特性上、図書・雑誌などの情報が古くなっていく場合もあるため、インターネットからの情報収集も積極的に行います。ゼミではゼミ生の報告に対し質疑応答を行い、更に理解を深めていきます。



国際交流

留学生歓迎会を終えて

国際交流会ともだち部長 国際商学科3年 住野 千依
(山口県立田部高等学校出身)

4月22日(金)に、国際交流会ともだち主催の留学生歓迎会を行いました。当日は多くの留学生や来賓の方、教職員の方が来てくださいました。今回の留学生歓迎会では、私たち国際交流会ともだちのメンバーも来てくださった方と一緒に飲食・歓談をし、催し物はビンゴ大会を開きました。歓迎会が終わった後、多くの方々に「楽しかった」「盛り上がった」と言っていたき、今までとは一味違った明るく柔らかい雰囲気の留学生歓迎会になったのではないかと思います。

私たち国際交流会ともだちは留学生のサポートをする他、留学生に「下関市立大学に来てよかった」と思ってもらえるには何をすればよいかを考え、国際交流のさらなる発展に貢献したいです。



留学生達と下関市探検・防災ツアーに行ってきました。

公共マネジメント学科2年 花井 雅樹
(宮崎県立高鍋高等学校出身)

4月10日(日)に、新入留学生達と下関市探検・防災ツアーに参加しました。新入留学生と留学生チューター総勢33名が参加しました。路線バスで唐戸に行き、唐戸近辺についての説明を受けた後、下関市消防局「火消鯨」に行きました。

地震、消火、通報、暗い部屋に充満した煙から非難するなど、映像と体験でいろいろ学びました。特に救急車やAEDの手配をし、救急車が到着するまでの間心肺蘇生法を途切れさせることなく次の人に交代する体験で、チューターをしている留学生以外ともコミュニケーションをとることができました。留学生たちと、今回体験したような状況に出会った時は、いつでも対応できるように身につけておきたいと話しました。留学生と留学生チューターの交流を深める良い機会になりました。



第1回日本にいながら世界を知ろう!! ~Reneeが語るオーストラリアとは?~

国際商学科4年 松村 遥
(サビエル高等学校出身)

5月23日(月)に行われた第1回日本にいながら世界を知ろう!!に参加しました。月曜日の5限目にも関わらず、会場には30人近くの学生が参加し、中でも多くの1年生が参加していたことが印象的でした。クイーンズランド大学職員のReneeさんからオーストラリア、クイーンズランド州ブリスベンの気候や文化、食の違いなど、海外での生活に関することについてお話をいただきました。

質疑応答では、クイーンズランド大学への留学経験者2名が、現地での生活において大切にすべきことや、注意すべきことなどのアドバイスも

ありました。また、本学は経済学部のみ単科大学なので、総合大学へ留学することについての質問があり、科目の幅広さ、人口の多さや、キャンパスの広さ、特に、キャンパス内に映画館や喫茶店などの様々な施設があるという回答に驚いている学生が多くいました。

今回の「日本にいながら世界を知ろう!!」によって、これからより多くの学生が下関から世界に羽ばたいてくれることを願っています。



一度きりの大学生生活を後悔なく頑張る

国際商学科2年 王 振
(中国・山東省出身)

今でも夢のようですが、自分が大学の特待生になれるとは本当に思っていませんでした。大学に入学したとき、一度しか経験できない日本での大学生活なので、とりあえず後悔なく頑張っていこうと決意しました。授業が難しく、先生の話が分からず、あきらめたいと思ったことが何度もありました。しかし、頑張って、勉強をずっと続けました。成績表をもらって、自分の想像以上のGPAを目にした時、本当に泣きたいほど嬉しかったです。そして、特待生授賞式で賞状を学長から頂いたそのとき、今こそ自分の人生の一番輝かしいときだと叫びたかったです。しかし、これだけで満足するのは禁物で、まだまだ頑張らなければならないことが多くあると考えます。今回の特待生の決定をきっかけに、大学での勉強へのモチベーションが一層高くなりました。残りの3年間も後悔なく頑張ります。



祭りでお姫さまの気持ちを満喫する

ベ・ジウン
(韓国・東義大学校 交換留学生)

韓国にいた時から日本の祭りに興味があったので、「しものせき海峡まつり」に参加することが叶い、とても嬉しかったです。5月2日当日の朝、中国、オーストラリア、タイの友達と一緒に赤間神宮に出発しました。

着付室でまずは髪をきれいにし、貫いながら派手な振袖を着ました。その後、昼食を済ませ、他の学校から来た方々と一緒に写真を撮りました。また着付室に戻って私たちが参加する、白い菊の花を手に持ちながら赤い橋を渡って花を差上げる儀式についての説明を受けました。人がいっぱい集まっていたのでちょっと緊張しましたが無事にやり遂げました。

歴史的な場所で伝統衣装である振袖を着て日本の祭りに参加し、歴史体験と文化体験を同時に楽しめた日でした。しかも儀式が終わってテレビの生放送に出ることができたことも特別な経験でした。



2016年度入学者選抜実施状況

学科	入試種別	定員	志願者	受験者	合格者	実質倍率	入学者		
経済学科	推薦	全国	27	92	92	28	3.3	28	
		地域	A	29	42	42	30	1.4	30
			B						
	一般選抜	前期	52	349	328	77	4.3	62	
		中期	83	1549	763	324	2.4	131	
	帰国子女		2	1	1	0	-	0	
	社会人		2	0	0	0	-	0	
	外国人留学生		若干名	13	13	4	3.3	2	
第3年次編入学		8	30	26	8	3.3	5		
国際商学科	推薦	全国	27	50	50	30	1.7	30	
		地域	A	29	31	31	31	1.0	31
			B						
	一般選抜	前期	52	384	363	75	4.8	42	
		中期	83	1568	767	344	2.2	126	
	帰国子女		2	0	0	0	-	0	
	社会人		2	0	0	0	-	0	
	外国人留学生		若干名	18	17	9	1.9	5	
第3年次編入学		8	18	16	8	2.0	6		
公共マネジメント学科	推薦	全国	7	28	28	7	4.0	7	
		地域	A	8	8	8	8	1.0	8
			B						
	一般選抜	前期	16	163	153	33	4.6	24	
		中期	27	633	324	117	2.8	32	
	帰国子女		1	0	0	0	-	0	
	社会人		1	0	0	0	-	0	
	外国人留学生		若干名	2	1	1	1.0	1	
第3年次編入学		4	13	12	5	2.4	4		

※推薦入学の合格者数には第2志望学科合格者を含みます。

2016年度合格者出身校

北海道	岩見沢西、北広島	広島県	安芸南、安古市、安佐北、五日市、盈進、AICJ、尾道、尾道北、尾道東、海田、賀茂、神辺旭、祇園北、近畿大学附属広島(東広島校)、呉三津田、高陽、進徳女子、崇徳、世羅、武田、忠海、沼田、廿日市、比治山女子、広、広島、広島井口、広島観音、広島工業大学、広島国際学院、広島国泰寺、広島城北、広島新庄、広島皆実、福山誠之館、福山、福山明王台、府中、舟入、美鈴が丘、御調、三原、三次、基町
青森県	三沢	山口県	厚狭、岩国、宇部、宇部鴻城、宇部商業、宇部中央、大津緑洋、小野田、華陵、下松、慶進、サビエル、下関(中等教育)、下関工業、下関商業、下関西、下関南、新南陽、高川学園、高森、田部、長府、徳山、豊浦、西市、野田学園、梅光学院、萩、早鞆、光、警、防府、防府商工、豊北、美祢青嶺、柳井、山口、山口中央
茨城県	茨城キリスト教学園	徳島県	阿波、池田、城東、城南、城ノ内、徳島北、徳島市立、鳴門、吉野川、脇町
栃木県	大田原	香川県	英明、香川県大手前、香川県大手前高松、香川誠陵、香川中央、観音寺第一、坂出、三本松、善通寺第一、高松、高松北、高松桜井、高松第一、高松西、高松東、土庄、三木
千葉県	匝瑳	愛媛県	今治北、今治西、伊予、宇和島東、宇和島南、愛媛大学附属、大洲、川之江、西条、済美、土居、東温、新居浜西、新居浜東、新田青雲、松山北、松山中央、松山西、松山南、三島
東京都	翔陽	高知県	高知小津、高知道手前、高知学芸、高知西、高知南
神奈川県	法政大学第二	福岡県	ありあけ新世、育徳館、香住丘、嘉穂、輝翔館、北九州市立、九州国際大学付属、九州産業大学付属九州産業、近畿大学附属福岡、鞍手、久留米、古賀成成館、小倉、小倉商業、小倉西、小倉南、自由ヶ丘、新宮、精華女子、西南学院、青雲、筑紫、筑紫丘、筑紫台、筑紫中央、筑前、伝習館、東筑、東鷹、戸畑、南筑、東筑紫学園、東福岡、福岡、福岡中央、福岡、福岡工業大学附属城東、北筑、三池、京都、武蔵台、宗像、門司学園、門司大翔館、八幡南、八幡、八女、八女学院
富山県	小杉、滑川	佐賀県	伊万里、小城、鹿島、唐津西、唐津東、佐賀学園、佐賀北、佐賀西、致遠館
石川県	金沢	長崎県	岐枝、諫早、大村、海星、上五島、五島、佐世保北、佐世保西、佐世保南、西陵、長崎北、長崎西、長崎日本大学、長崎東、長崎北陽台、長崎南、西彼杵、猶興館
福井県	武生東、敦賀	熊本県	阿蘇中央、天草、鹿本、熊本学園大学付属、熊本北、熊本西、熊本マリスト学園、済々黌、第一、第二、玉名、東稜、人吉、文徳、北稜、八代、湧心館
山梨県	甲府西、甲府東	大分県	安心院、岩田、臼杵、大分上野丘、大分鶴崎、大分東明、大分西、大分豊府、大分舞鶴、大分雄城台、杵築、国東、佐伯鶴城、高田、竹田、中津北、中津南、日田、別府青山、別府鶴見丘、由布
長野県	岩村田	宮崎県	飯野、小林、高鍋、妻、日南、延岡、延岡学園、延岡星雲、日向、鵬翔、都城景ヶ丘、都城商業、宮崎大宮、宮崎学園、宮崎北、宮崎商業、宮崎第一、宮崎西、宮崎日本大学、宮崎南
岐阜県	加納、岐山、関、高山西、長良、美濃加茂	鹿児島県	伊集院、出水、指宿、鶴翔、鹿児島実業、鹿児島中央、鹿児島南、加治木、加世田、鹿屋、川辺、樟南、川内、武岡台
静岡県	伊東、磐田南、静岡商業、静岡東、日本大学三島、沼津市立沼津、沼津西、藤枝明誠、浜松南、浜名	沖縄県	那覇国際
愛知県	愛知、愛知工業大学名電、阿久比、旭野、安城東、一宮興道、一宮南、春日井、春日井南、高蔵寺、五条、小牧南、新川、清林館、滝、知立東、常滑、豊丘、豊田東、名古屋、西尾東、南山、日進西、半田東、横須賀		
三重県	伊勢、上野、高田、津西、津東、三重、四日市、四日市西、四日市南		
滋賀県	河瀬、光泉、膳所、彦根東、八日市		
京都府	大谷、京都橘、京都成章、京都明德、園部、菟道、鳥羽、南陽、西舞鶴、東山、福知山、宮津、龍谷大学付属平安		
大阪府	追手門学院大手前、大阪青凌、大谷、開明、興國、近畿大学附属、三国丘、四天王寺羽曳丘、清風、清風南海、初芝富田林、箕面、履正社		
兵庫県	相生、明石城西、明石西、芦屋(県立)、伊丹(県立)、伊丹北、加古川東、柏原、北須磨、北摂三田、星陵、宝塚北、宝塚西、滝川、滝川第二、龍野、東洋大学附属姫路、西宮(県立)、西宮北、西宮東、西脇、白陵、浜坂、東播磨、姫路飾西、兵庫、兵庫県立大学附属、北条、報徳学園、御影、三田祥雲館、山崎		
奈良県	畷傍、智辯学園、奈良育英		
和歌山県	海南、向陽、田辺、桐蔭、日高、和歌山信愛		
鳥取県	倉吉西、倉吉東、鳥取城北、鳥取西、鳥取東、米子東		
島根県	隠岐島前、出雲、大田、大社、浜田、平田、松江北、松江東、松江南、三刀屋		
岡山県	井原、岡山朝日、岡山一宮、岡工学芸館、岡山操山、岡山城東、岡山大安寺、岡山東商業、岡山芳泉、岡山南、笠岡、関西、倉敷古城池、倉敷青陵、倉敷南、高梁、就実、瀬戸、総社、玉島(県立)、玉野光南、津山、津山東、新見、西大寺、明誠学院		

平成28年度予算

(単位:百万円)

	区 分	金 額
収 入	運営費交付金	162
	授業料等	1,084
	入学金	124
	入学検定料等	65
	事業収入等	28
	寄附金	3
	積立金取崩	40
	計	1,506
支 出	一般管理費	240
	人件費	1,040
	教育経費	141
	研究経費	49
	教育支援経費(図書館)	36
	計	1,506

行事記録(平成28年3月~6月)

- 3月 6日 一般選抜(前期日程)合格発表
- 8日 一般選抜(中期日程)
- 12日 大学院選抜(2次募集)
- 21日 一般選抜(中期日程)・大学院(2次)合格発表
- 25日 卒業式
- 4月 4日 新生生プレイメントテスト
在学生オリエンテーション
- 5日 入学式
新生生保護者説明会
大学院新生生オリエンテーション
履修事前エントリー(~6日)
健康診断(~8日)
- 6日 新生生オリエンテーション(~7日)
新入留学生環境みらい館視察
- 8日 履修登録開始(~14日)
- 10日 新入留学生市内探検・防災ツアー
- 11日 春学期授業開始
- 26日 前期授業料納入期限
- 5月 13日 特待生表彰式
- 16日 関門地域共同研究会成果報告会
- 23日 第1回日本にいなから世界を知ろう!!
- 6月 1日 開学記念日
- 4日 創立60周年記念式典
- 23日 高校教員対象入試説明会



創立60周年記念式典で同窓会から国旗と大学旗が贈呈される

下関市立大学 オープンキャンパス2016

8/6(土) 8/7(日) 10/2(日)
10:00~(受付9:30~)

- ★参加者全員にオリジナルグッズプレゼント!!
- ★無料ランチ券配付(8月のみ)

【全体説明】

- 大学概要:本学の特色などを紹介します。
- 入試説明:今年度入試の概況、来年度入試の概要を説明します。
- 就職状況:就職状況やサポート体制を解説します。

【模擬講義】

本学の教員が、高校生の皆さんに日頃の授業をわかりやすく講義します。

【語学体験】

初歩的な会話レッスンや海外の研修先の紹介などを行います。

【小論文対策講座】

本学の小論文試験の傾向と対策について講義します。

【個別相談】

入試や大学生活、就職など、いろいろな疑問にわかりやすくお答えします。

【市大生と語ろう】

授業やサークル活動、普段の生活スタイルのことなど、在学生の生の声を聞くことができます。

【学内施設ツアー】

在学生とおしゃべりをしながら、学内を散策します。

【学生食堂】無料ランチ(8月のみ)

普段学生が食べている人気メニューが味わえます。

※10月2日はプログラムの内容が異なります。詳細はHPをご覧ください。

■無料送迎バス運行(8月のみ)

最寄駅(JR幡生駅・新下関駅)より無料送迎バスを運行します。



模擬講義

個別相談



学内
施設ツアー



学生食堂

